

共同企業体による就労準備支援事業「はたらっく」の広がり

2023年12月1日から綾瀬市就労準備支援事業「はたらっく・あやせ」事業所が開設しました。生活クラブ生協、ワーカーズ・コレクティブ協会、地域生活クラブ生協の共同企業体による「はたらっく」事業が実績を重ねたこともあって県央、湘南を中心に広がってきました。あやせは、ゆがわら、ひらつか に続いて4番目になります。

就労準備支援事業は、生活困窮者自立支援制度に基づいた事業です。福祉事務所を設置している自治体の任意事業ですが、ニート、不登校、ひきこもり、メンタル面が不安定な方たちの社会参加の機会を増やし就労への意欲を高め、社会的自立をサポートするのが目的です。生活困窮者 自立支援法が制定されて8年目を迎え、就労準備支援事業の意義とその成果が評価されているのですが、今年の見直しの議論でも、国の予算の問題と委託先の開拓が困難なこともあって必須化が見送られました。そんな状況下ですが、朝日新聞から発行された書籍「誰も断らないーこちら座間市生活支援課」や、2023年9月にETVに放映された「断らない」により「はたらっく・ざま」の支援のあり方に共感をもってくださる方が増えてきました。今回も座間市を通して「はたらっく」の視察があり、あやせの開設に繋がりました。専門集団ではない私たちの支援方法を理解し受け止めてくださっていることを心から嬉しく思うのです。一人の生活者として市民として勉強や研修を怠らずにスキルを身につけ、暮らしやすい地域づくりにこだわる活動への共感が、共同企業体の信頼となり「はたらっく」の展開を促していると感じています。 (おかだゆりこ)



2020年より始まった「はたらっく・ざま」のサポーター達は個性豊かな面々です。現在は「みんなの居場所ここから」で、それぞれも得意分野を活かしての講座を交代で開催しています。私以外は皆さん教職経験者。お一人は美術工芸の現役教師ですので、皮のカード入れやステンシルでエコバッグづくりなどの本格的な工芸教室もあります。そのほか季節の絵手紙、昔遊び、お菓子を作って食べたりと楽しむことを第一に、そして達成感とお得感も感じて貰える内容の講座を企画しています。また頭や手先だけでなく身体も動かそう！とほぼ毎月「ヨガ・足心道講座」を行ったりして参加者が心身ともにリラックスできる時間を過ごせるようにと願っています。

私は我流のおおざっぱなお菓子作りを通じて「きちんと正確に」ではなく「いい加減でいいんだよ」と「こんなんで何とかなってる、自分大丈夫じゃん」と感じて貰えたらいいなと思って活動しています。 (中村 ひろ子)

